

会 議 録

1 会議名

令和元年度 第1回 上越市博物館協議会

2 議題

(1) 開館1年間の事業結果について（公開）

- ・上越市立歴史博物館
- ・上越市立水族博物館

(2) 令和2年度の事業計画について（非公開）

- ・上越市立歴史博物館
- ・上越市立水族博物館

3 開催日時

令和元年8月29日（木）午前10時30分から

4 開催場所

教育プラザ 中会議室

5 傍聴人の数

なし

6 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

ア 委員

川村知行、天野和孝、清沢聰、浅倉有子、松野玲子、斎藤良人、大山賢一、増田小夜子、
岩井文弘

イ 事務局

- ・野澤朗教育長
- ・教育総務課 金子課長、柳澤副課長、力久係長
- ・文化行政課 中西課長
- ・歴史博物館 宮崎館長、花岡副館長、一越主任、荒川主任
- ・水族博物館 櫻館長、佐藤マネージャー、須藤サブリーダー

7 発言の内容

博物館協議会委員任命書の交付後、委員の互選により川村知行委員が委員長に、天野和孝委員が副委員長に選任され、川村委員長の指名により歴史博物館部会に川村知行委員、清沢聰委員、浅倉

有子委員、斎藤良人委員、増田小夜子委員が、水族博物館部会には天野和孝委員、関谷伸一委員、松野玲子委員、大山賢一、岩井文弘委員が属するものとした。議題（１）～（２）については部会（歴史博物館部会・水族博物館部会）に分かれて行い、その後全体会を行った。各部会では最初に部会長・副部会長を選任した。歴史博物館部会では川村知行委員を部会長に、清沢聰委員を副部会長に選任し、水族博物館部会では天野和孝委員を部会長に、関谷伸一委員を副部会長に選任した。

（１）開館１周年の事業結果について（公開）

ア 上越市立歴史博物館

【歴史博物館資料 1～7 ページに基づき説明】

（浅倉委員） 2・3点確認したい。無料ゾーンの入館者数はどのようにカウントするのか。調査研究事業であげられている高田図書館資料の移管に伴う調査と戦時下の戦闘機献納にかかる記念プロペラの調査とはどんな内容か。

（花岡副館長） 無料入館者のカウントについては、館正面入口の自動ドアのところに入館者をカウントする機械を設置している。入口カウンターの数字は館全体の利用者としてカウントしている。そこから有料などで2階展示室を観覧された方の数字を引いた数が無料ゾーンのみ利用者数となっている。高田図書館資料の博物館への移管についてですが、高田図書館は博物館が設置される以前からある古い施設であり、博物館ができる以前から古文書や資料等を多く収集してきた経緯がある。その中で、現在は高田図書館に収蔵されている古文書などの管理を担当する職員がおらず、市公文書センターが出納の管理や閲覧利用の対応している状況である。公文書センターが管理する資料の他に、明治天皇が行幸した際に座ったとされる椅子などのモノ資料や、〇〇家文書というようなまとまりではない堀秀治書状など1点ものの歴史資料など100点ほど収蔵している。博物館でも良く展示している昭和初期の観桜会ポスターも実は高田図書館所蔵の資料であるが、それらの資料については現在目録を作成しながら博物館に移管する作業を進めている。

（荒川主任） プロペラは木製で、小猿屋小学校に長く保管されていたもの。アジア・太平洋戦争期には企業や団体が陸軍や海軍に飛行機を献納する運動があったが、献納した企業などへは使わなくなった軍用機のプロペラを返礼として贈っていた。このプロペラは、もともと東京の企業が海軍に飛行機を献納した返礼品だが、その妻が小猿屋国民学校の出身だった縁で寄贈された。

(宮崎館長) このプロペラは、小猿屋小学校が閉校になった際に博物館へ移管された。

イ 上越市立水族博物館

【水族博物館資料 1～5 ページに基づき説明】

(大山委員) 情報誌「うみがたり」について、ホームページ上で掲載しているのか。

(櫻館長) 現在は、掲載していない。

(大山委員) 腹部が白いナマコの展示を行っているとのことだが、情報発信はしているのか。

(櫻館長) 情報発信を行っている。

(岩井委員) 季節における客層の変化はどうなっているか。

(櫻館長) 去年は季節における客層の変化はなかったが、一日のなかでは、日中は家族連れや年配者が多く、夕方になると若者のグループやカップルが多くなる。夕方に若者が多い傾向は、水族博物館の3階から望む夕日を目的とした動向によるものと考えている。

(松野委員) オープン一周年イベントは、水族博物館で実施したものか。

(櫻館長) 当該イベントは、地元団体が主催したもので、水族博物館はイベントに参画する形態であった。

(2) 令和2年度の事業計画について（非公開）

ア 上越市立歴史博物館

イ 上越市立水族博物館

8 問合せ先

上越市立歴史博物館 TEL : 025 - 524 - 3120

E-mail : museum@city.joetsu.lg.jp

9 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。